

救急診療、 時間軸で考えて動く！

緊急性・症候別に対応の優先順位を押さえ、
適切な診断・治療・コンサルトができる

序	武部弘太郎	3 (1779)
Color Atlas		9 (1785)

第1章 救急診療総論

1. 初期評価：ABCDE アプローチを中心に	小林靖孟	12 (1788)
1. 初期評価とは何か 2. 救急外来での初期評価の実際		
2. ゴールデンタイムとコンサルテーション	竹内慎哉	21 (1797)
1. 生理学的な軸だけではなく、時間軸も大事 2. 時間軸を意識したコンサルテーション		
3. 救急診療と診断エラー 救急診療において、特に時間軸を意識することで起こりうる診断エラーについて	船越 拓	26 (1802)
1. 診断エラーとは 2. 診断エラーの原因と救急外来特有の状況 3. 診断エラーを防ぐための工夫		

第2章 救急診療各論① 直ちに診療を開始すべき症候

1. 呼吸困難・呼吸不全	竹下 諒	26 (1802)
1. 致死的な呼吸困難か否かを判断する！ 2. 病歴聴取・身体診察から原因検索 3. 検査 4. 酸素療法 5. 冒頭の症例について		

- 2. ショック**中島聰志 48 (1824)
1. 症例 2. ショックとは何か? 3. ショックの診断 4. ショックへのアプローチ 5. ショックの治療 6. 症例の経過 ● Advanced Lecture: 収縮期血圧と平均動脈圧、観血的血圧測定と非観血的血圧測定
- 3. 意識障害**鈴木裕之 58 (1834)
1. 時間軸で考える! 「意識障害」診療の概要 2. ABCDEアプローチ 3. 低血糖発作 4. 脳卒中 5. 細菌性髄膜炎 6. その他の原因検索 7. 冒頭で提示した症例の初期対応を見直そう
- 4. 痙攣**後藤 縁 66 (1842)
1. 目の前で痙攣が始まった! 2. 痙攣重積の対応は? 3. 痙攣の初期評価と鑑別診断

第3章 救急診療各論② 緊急性の高い疾患を有する症候

- 1. 咽頭痛・頸部痛**山田浩平 78 (1854)
1. まずはABCDEとred flagの評価をする! 2. Aの異常があれば、すぐに応援、気道確保の準備を行う! 3. ABCDEは安定したけどred flagあり…まだ予断を許さない! 4. ABCDE異常なし、red flagなし…リスクファクター、病歴を吟味する 5. 症例の解説
- 2. 一過性意識障害と失神**植地貴弘 85 (1861)
1. 一過性意識障害患者にもABCDEでアプローチ 2. A(気道)の異常がある場合は、失神ではないかもしない 3. 病態生理を意識して失神を診察しよう 4. 患者のdispositionを決めよう
- 3. 動悸・頻脈**森田智也, 溝辺倫子 95 (1871)
1. 緊急でのカルディオバージョンは数分以内に必要か? 2. 頻脈ならば、リズムとQRS幅は? 3. 洞性頻脈であればその原因を検索! 4. 頻脈のない動悸症状は?
- 4. 胸痛**徳竹雅之 104 (1880)
1. 「胸痛BIG 3」: ACS, PE, AADの典型像と見逃しパターンをつかんでおこう 2. 胸痛鑑別三種の神器: 心電図、リスクスコア、バイオマーカー 3. 初期対応とコンサルテーション
- 5. 腰背部痛**大林正和 116 (1892)
1. 緊急度・重症度の高い腰背部痛疾患を知ろう 2. 危険な疾患を診断・除外するための診療ポイント 3. 時間軸を考えて動く腰背部痛診療
- 6. 腹痛**松田律史 122 (1898)
1. 症例の経過と診療ロジック 2. 診療の目的を明確化して、やるべきことを時相で分ける 3. 鑑別診断は「攻める医療面接」から始まる 4. 身体所見と画像検査の使い方 ● Advanced Lecture: 1. 超音波検査を2-steps methodに準じて活用する戦略 2. 腹痛診療において造影CTはdynamicで撮るべし
- 7. 女性の腹痛・妊婦の腹痛**矢島つかさ, 花木奈央 131 (1907)
1. 初期対応 2. 鑑別診断とコンサルト～月経周期と妊娠の有無を意識して鑑別をあげる～
- 8. 小児の腹痛**鉄原健一 140 (1916)
1. 小児のABCDEアプローチ～評価のコツ～ 2. 小児の腹痛～鑑別疾患は年齢別に違うけど“全身を診る”のは同じ～ 3. 症例の振り返り

- 9. 吐血・下血**狩野謙一 146 (1922)
1. 初期評価ではABC、バイタルサインを念頭におく！ 2. 吐血・下血患者の病歴聴取・身体診察のポイントは？ 3. 吐血・下血患者の検査は何をオーダーするのか？ 4. 吐血・下血患者の入院適応・緊急止血のタイミングは？
- 10. 頭痛**豊 良太 153 (1929)
1. バイタルサインや簡単な神経学的所見のチェック 2. 病歴聴取 3. 身体診察 4. 検査 5. 治療
6. コンサルテーション ● Advanced Lecture : 1. SNNOOP10 2. 頭部CTは必須か？
- 11. 麻痺, 失語, 感覚障害診療**
脳梗塞を中心に清水宏康 162 (1938)
1. 脳梗塞の実際の症例における鑑別 2. 時間軸を意識した救急診療
- 12. 発熱**岡田信長 171 (1947)
1. 発熱患者、まず考えること2点 2. 敗血症の診断 3. 敗血症の治療
- 13. 体温異常**深野賢太郎, 薬師寺泰匡 179 (1955)
●熱中症 1. これは発熱？高体温？ 2. 熱中症の初期評価では、熱中症以外の疾患を可能な限り除外する 3. 熱中症の初期治療は冷却のタイミングを見逃さない ●低体温症 1. 主訴：低体温？ 2. 偶発性低体温症の評価・治療では、体温による重症度評価を行う 3. 偶発性低体温症の心肺蘇生のポイントを理解する ● Advanced Lecture : 偶発性低体温症に対するVA-ECMO

第4章 救急診療各論③ 機能予後で時間を意識すべき症候

- 1. 開放骨折とコンパートメント症候群**田口 梓, 関根一朗 189 (1965)
1. 総論 2. 開放骨折 3. 外傷性四肢コンパートメント症候群
- 2. 眼痛・視力低下**池田貴夫 198 (1974)
1. 救急外来で行う眼の診察 2. 緊急度の高い疾患
- 3. 急性陰嚢症・持続勃起症**宮本颯真, 宮本雄気 206 (1982)
●急性陰嚢症 1. 精巣捻転 2. 精巣炎・精巣上体炎 ●持続勃起症 1. 持続勃起症とは 2. 診断 3. 原因・診断 4. 治療

column

1. 時間軸に関する救急外来での tips 佐藤信宏 34 (1810)
■ TIMEで救急外来の診療が変わる！
 1. ショートスリーパーとは
 2. 適切な睡眠時間とは？
 3. 医師と「働き方改革関連法」
 2. 医師の睡眠時間と働き方改革 植地貴弘 74 (1850)
 1. ショートスリーパーとは
 2. 適切な睡眠時間とは？
 3. 医師と「働き方改革関連法」
 3. 合間時間の活用術：5分あれば何をする？ 武部弘太郎 151 (1927)
 1. 緊急内視鏡検査に特化した病歴聴取
 2. 各種同意書の印刷と本人・家族など説明相手の確認
 3. スタッフ間での情報共有
 4. 研修医や後輩への1分間ティーチング
 4. エビデンスに基づくということ 小林靖孟 187 (1963)
 1. EBMの実践とはエビデンスの厳格適用ではない
 2. EBMの実践には経験知や暗黙知の共有が重要である
 5. 文献の探し方と最新トピック 翼 良太 217 (1993)
 1. EMA文献班ってどのようなことをしているの？
 2. 文献の探し方
 3. 最近のトピック
- 付録：ゴールデンタイム一覧表 220 (1996)
- 索引 223 (1999)
- 執筆者一覧 227 (2003)
- EM Allianceとは 228 (2004)